

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27・205	高等学校	商業科	原価計算	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
190 東法	商業 351	原価計算 新訂版		

1. 編修の基本方針

原価計算や工業簿記を一定のパターンで暗記するのではなく、自ら学び考えることができるように適宜例題を配置するとともに、練習問題と研究課題を設けて演習ができるようにした。また、機械装置や切削工具など製造活動に特有の用語のイメージがわくように適宜写真やイラストを掲載するとともに、難解な用語には適宜側注を付した。

また、製造業における原価計算の基本的な考え方と方法および会計処理に関する知識と技術を習得させるために、「原価と原価計算」を第Ⅰ編に配置している。

(1) 第Ⅰ編では、「簿記」で学習した複式簿記の知識と技術を基礎にして、製造業における経営活動と原価計算との関係および簿記の特色について理解できるようにしている。

(2) 第Ⅱ編では、材料費・労務費・経費の分類と計算、記帳法と予定価格を用いた合理的な計算を取り扱い、原価の費目別計算をおこなうための知識と技術が習得できるようにした。

(3) 第Ⅲ編では、「原価の部門別計算と製品別計算」について著述し、個別原価計算・部門別個別原価計算・総合原価計算を学習し、原価の部門別計算と製品別計算をおこなうために必要な基礎的な知識と技術が習得できるように配慮した。さらに、原価計算表と製造勘定との関係、製造間接費の配賦、仕損と作業くず、製造間接費の差異分析、部門別計算の必要性、原価部門の設定、部門費振替表の作成方法、予定配賦、総合原価計算の特色や仕損と減損および副産物の基礎的な方法について理解を深め、総合原価計算と個別原価計算の対比で理解が深まるように配慮した。

(4) 第Ⅳ編では、製品の完成・販売と決算について取り扱い、製品の完成・販売と本社・工場間の取引の記帳法および製造業の決算について学習し、製造原価報告書の作成などを通して製造業と商品売買業の財務諸表の違いについて理解できるように配慮した。特に 190 ページでは総勘定元帳と製造原価報告書、損益計算書との関係を明示して、理解が深まるように配慮した。

(5) 第Ⅴ編では、「標準原価計算」を設置し、原価管理の基本的な意味、標準原価計算の目的および標準原価計算の一連の手続き、原価差異の原因別分析、損益計算書の作成を通

して標準原価計算に関する基礎的な知識と技術の習得が図れるように配慮した。また、パーソナルプランによる記帳法を学習できるようにしている。

(6) 第VI編では、「直接原価計算の基礎」を設置し、直接原価計算の方法および直接原価計算による損益計算書の作成を取り扱い、売上高・原価・利益の関係の学習を通して、直接原価計算が短期利益計画に有用な情報を提供できることを理解できるように配慮した。

(7) 巻末には原価計算基準を4色で掲載し、教科書本文の学習の過程で原価計算基準を適宜参照できるように配慮した。

2. 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康やかな身体を養うこと。	・巻末に原価計算基準を掲載し、「真実の原価」を算定表示することが原価計算の目的であることが理解できるようにしている。	・254 ページ～277 ページ
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	・各種イラストや写真に職業もしくは労働をしている人を描き、勤労について理解がしやすいように配慮している。	・第I編とびら写真, 2 ページイラスト, 3 ページイラスト, 26 ページ写真, 32 ページ写真, 53 ページイラスト, 70 ページイラスト, 第III編とびら写真, 101 ページイラスト, 122 ページイラスト, 148 ページイラスト, 149 ページイラストなど
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	・イラストについては男女がなるべく等しく描写されるように配慮し、本文は「真実の原価」を目的とする原価計算基準にそくして著述した。	・口絵①イラスト, 26 ページ写真, 53 ページイラスト, 79 ページイラストなど
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	・作業くずの再利用について著述している。	・101 ページ 3 行目～15 行目

<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵②で輸出の様子を取り扱い、石油タンカーの写真を第Ⅰ編の扉に掲載し、自由貿易と国際協調の大切さを訴求している。 ・日本国内の写真だけでなくアメリカ、イギリス、ドイツなど海外の製造工程に関する写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵②イラスト, 1 ページ写真, 32 ページ写真, 33 ページ写真
---	--	---

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・口絵についても授業で活用できるように内容に配慮し、口絵①②では「自動車の製造と原価計算の例」を記載し、総合原価計算の特色が理解しやすいようにした。
- ・口絵③で「個別原価計算（木製家具の例）」、口絵④で「総合原価計算（鉄鋼業の例）」を見開きで取り扱い、個別原価計算と総合原価計算について比較して理解できるように配慮した。
- ・第Ⅰ編では初めて「原価計算」を学ぶ生徒が、商業簿記との違い、原価計算のしくみについて容易に理解できるようにイラストと図解については特に注意して掲載した。
- ・キャラクターが発問や説明をおこなうことで、生徒が重要な点や注意すべき点を強く認識できるように配慮した。
- ・生徒が理解しにくいと思われる計算方法については、図解とともに計算式を示して理解しやすいように配慮した。
- ・会計の国際化を意識し、生徒が理解しやすいように記述し、必要と思われる用語に英語表記を付した。
- ・口絵⑤と⑥で「部門別個別原価計算（木製家具の例）」を取り上げ、原価部門の設定と補助部門と製造部門の関係がイメージしやすいように配慮した。
- ・口絵⑦で「月末仕掛品原価の求め方」を取り上げ、月末仕掛品原価の計算方法を習得しやすいように配慮した。
- ・口絵⑧でパーシャルプランの記入方法を取り上げ、標準原価計算の記帳法について理解が深まるように配慮した。
- ・思考力・判断力・表現力を育成するために、適宜論述問題を挿入し、30 頁では実在する各製造業の会社について、どのような原価計算の方法によっているのかを調べる問題を記載した。また、口絵には製造業や原価計算のイメージが理解しやすいように第Ⅰ編の扉には石油タンカー、第Ⅱ編の扉には精密機械装置、第Ⅲ編の扉には自動車製造工場、第

IV編には大規模小売商の写真などを記載した。

・第VI編の後ろに記帳練習問題を6問掲載し、原価計算の手法と同時に記帳能力も養えるように配慮した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-205	高等学校	商業科	原価計算	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
190 東法	商業351	原価計算 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 製造業における原価計算および会計処理に関する基礎的な知識と技術の習得を重視し、簡潔な文章と例題、練習問題を適宜記述している。

(2) 原価の概念について理解させるため、口絵で製造業の製造工程について取り扱っている。

(3) 原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てるために、標準原価計算と直接原価計算の著述を重視し、適宜記述問題も掲載している。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第Ⅰ編 原価と原価計算			
第1章 原価の概念と原価計算			
1 工業簿記と原価計算			
2 原価の意味	(2)原価と原価計算	2～17ページ	7
3 原価要素の分類	ア原価の概念と原価計算		
4 原価計算の目的			
5 原価計算の手続き			
6 原価計算期間			
7 原価計算の種類			
第2章 製造業における簿記の特色としくみ	(2) 原価と原価計算 イ製造業における簿記の特色としくみ		
1 製造業と簿記			
2 製造業における特有な勘定			
第Ⅱ編 原価の費目別計算			
第1章 材料費の計算と記帳			
1 材料費の分類	(2) 原価の費目別計算	32～52ページ	5
2 材料の購入と記帳	ア材料費の計算と記帳		
3 材料の保管			
4 材料の出庫と記帳			
5 材料消費高の計算			
第2章 労務費の計算と記帳			
1 労務費の分類	(2) 原価の費目別計算	53～68ページ	4
2 賃金支払高の計算と記帳	イ労務費の計算と記帳		
3 賃金消費高の計算と記帳			
4 賃金以外の労務費の計算と記帳			
第3章 経費の分類と記帳			
1 経費の分類	(2) 原価の費目別計算	69～76ページ	3
2 経費消費高の計算	ウ経費の計算と記帳		
3 経費消費高の記帳			
第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算			
第1章 個別原価計算			
1 個別原価計算と原価計算表	(3) 原価の部門別計算と製品別計算	78～104ページ	10
2 原価計算表の記入	ア個別原価計算と製造間接費の計算		
3 原価計算表と製造勘定			
4 製造間接費の配賦			
5 製造間接費の予定配賦			
6 製造間接費の差異分析			
7 仕損品			
8 作業くずの処理			

第2章 原価の部門別計算	(3) 原価の部門別計算と製品別計算 イ部門別個別原価計算	105～121ページ	6
1 部門別計算の意味			
2 原価部門の設定			
3 部門別計算の手続き			
第3章 総合原価計算	(3) 原価の部門別計算と製品別計算 ウ総合原価計算	122～174ページ	12
1 総合原価計算			
2 総合原価計算の種類			
3 単純総合原価計算			
4 等級別総合原価計算			
5 組別総合原価計算			
6 工程別総合原価計算			
7 総合原価計算における減損および仕損			
8 副産物の評価			
第IV編 製品の完成・販売と決算			
第1章 製品の完成と販売	(4) 製品の完成・販売と決算 ア製品の完成と販売	176～179ページ	3
1 完成品の受け入れ			
2 製品の販売			
3 販売費及び一般管理費			
第2章 本社・工場会計	(4) 製品の完成・販売と決算 イ工場会計の独立	180～183ページ	2
1 工場会計の独立(工場元帳制)			
2 取引の記帳方法			
第3章 製造業の決算	(4) 製品の完成・販売と決算 ウ製造業の決算	184～194ページ	4
1 決算の手続き			
2 月次決算と年次決算			
3 会計期末における原価差異の処理			
4 財務諸表の作成			
第V編 標準原価計算			
第1章 標準原価計算の目的と手続き	(5) 標準原価計算 ア標準原価計算の目的と手続	196～205ページ	5
1 原価管理と標準原価計算の意味と目的			
2 標準原価計算の手続き			
3 原価標準の設定			
4 標準原価の計算			
5 実際原価の計算			
第2章 原価差異の原因別分析	(5) 標準原価計算 イ原価差異の原因別分析	206～222ページ	2
1 原価差異の計算と分析			
2 標準原価計算の記帳方法			
第3章 損益計算書の作成	(5) 標準原価計算 ウ損益計算書の作成	223～228ページ	2
1 標準原価計算における原価差異の会計処理			
2 損益計算書における原価差異の表示			
第VI編 原価情報の活用			
第1章 利益計画と直接原価計算	(6) 直接原価計算の基礎 ア直接原価計算の目的と損益計算書の作成 イ短期利益計画	230～242ページ	3
1 利益計画と直接原価計算の意味			
2 直接原価計算の手続き			
3 損益分岐分析(CVP分析)			
	計		70

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-205	高等学校	商業科	原価計算	
※発行者の番号・略称		※教科書の記号・番号		※教科書名
190 東法		商業 351		原価計算 新訂版

ページ	記述	類 型	関連する学習指導要領の内容や内容 の取扱いに示す事項	ペー ジ 数
240 ~ 241 ペ ージ	原価の変動費と固定費の 分解	1	第 15 節「管理会計」 2 内容 (3) 短期利益計画 ア原価予測の方法	1.5 ペー ジ
241 ~ 242 ペ ージ	安全余裕率の算定	1	第 15 節「管理会計」 2 内容 (3) 短期利益計画 イ損益分岐分析と感度分析	1.5 ペー ジ
合計				3 ペ ージ

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であつても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容